

済岡支発 第111号
令和8年8月12日

都道府県知事 殿

申請者	住 所	岡山市北区国体町2番25号
	氏 名	社会福祉法人恩賜財団済生会
		支部岡山県済生会
		支部長 山本 和秀

岡山済生会総合病院の地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和7年度の業務に関して別添のとおり報告
します。

項目 1 : 基本情報

① 医療機関コード（医科 / 歯科）

医科	880.008.7
歯科*	884.008.9

*歯科の医療機関コードが割り振られている場合のみ

② 開設者*

住所**	岡山市北区国体町2番25号
氏名	社会福祉法人恩賜財団済生会 支部岡山県済生会 支部長 山本 和秀

*開設者とは、医療機関の開設・設営の責任主体であり、原則として営利を目的としない法人又は医師である個人であるものをいいます。

**開設者が法人である場合は「住所」には法人事務所の所在地、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

③ 病院情報

病院名	岡山済生会総合病院		
管理者 役職・氏名	院長・仁熊 健文		
郵便番号 (半角ハイツなし)	7008511		
所在地 1 (自動入力)	岡山県岡山市北区国体町2番25号		
所在地 2			
電話番号	086-252-2211		

一般病床数	473
療養病床数	0
感染症病床数	0
精神病床数	0
結核病床数	0
合計病床数	473

④ 地域医療支援病院の承認年月日

年月日	平成24年5月25日
-----	------------

項目 2： 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

① 紹介率・逆紹介率

紹介率	
紹介患者数 . . . (1) *	10257
初診患者数 . . . (2) **	15617
紹介率 . . . (1) ÷ (2)	65.68%
逆紹介率	
逆紹介患者数 . . . (3) ***	23496
逆紹介率 . . . (3) ÷ (2)	150.45%

- * (1) 開設者と直接関係のない他の病院又は診療所から紹介状により紹介された者の数（初診の患者に限る）。以下を含む：電話情報により自院の医師が紹介状に転記した患者、紹介状または検査票のある、精密検診のための受診
- ** (2) 医学的に初診といわれる診療行為があった患者数（以下を除く：救急患者数、休日又は夜間に受診した患者、自院の健康診断で疾患が発見された患者）
- *** (3) 診療に基づき他の機関での診療の必要性等を認め、患者に説明し、その同意を得て当該機関に対して、診療状況を示す文書を添えて紹介を行った患者（開設者と直接関係のある他の機関に紹介した患者を除く）。

項目 3 : 共同利用の実績

① 利用医師等登録制度の実施にあたる担当者の役職

役職	地域医療連携室長
----	----------

② 登録医療機関数

登録医療機関数	149
上記のうち、 開設者と直接関係のない*医療機関の数	149

*「開設者と直接関係がない」とは、開設者や代表者が同一である場合、または親族である場合、理事などの役員の3/10が親族が占めている場合、またはそれに準じて重要な影響を与えている医療機関ではないものをいいます。

③ 共同利用状況

共同利用にかかる病床	
共同利用にかかる病床数	8
共同利用にかかる病床の病床利用率*	33.2

*共同病床利用率（小数点第1位まで）

$$\frac{\text{共同利用病床を共同利用にて使用した患者の年間患者延数}}{(\text{月間日数} \times \text{月末病床数}) \text{ の 1 \sim 12 月の合計}} \times 100$$

共同利用を実施している医療機器*	
☒	CT
☒	MRI
☐	PET
☒	放射線治療機器（リニアック・ガンマナイフ）
☐	マンモグラフィ
☒	その他
▼「その他」を選択した場合は入力してください。	
上部内視鏡	

*出典：外来医療に係る医療提供体制の確保に関するガイドライン～第8次（前期）～

▼共同利用している施設（建物）等

図書室・会議室・カンファレンス室・電子カルテ（なでしこネット、疾病統計等）

共同利用を行った医療機関の延べ数

4346

項目 4： 救急医療の提供の実績

① 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	4548
上記以外の救急患者の数	9898

*:地方公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬送された患者の数(救急患者の数)

② 重症救急患者のための病床の確保状況

優先使用の病床数	8
専用病床数	0

③ 重症救急患者に必要な検査・治療に必要な診療施設の概要

【救急センター】 (面 積) 282.98㎡ (主な設備) 心電図モニター、除細動器、A E D、経皮的動脈血酸素飽和度測定器、バイポーラ、超音波、人工呼吸器、携帯自動血圧計、メラサキウム、輸液ポンプ、吸入器、など
【I C U】 (面 積) 306.28㎡ (主な設備) 救急蘇生装置、除細動器、ペースメーカー、心電図、人工呼吸装置、ポータブルエックス線撮影装置、呼吸循環器監視装置、経皮的動脈血酸素飽和度測定装置、生体情報管理システム(CAPシステム：電子カルテと連携) など
【H C U】 (面 積) 364.2㎡ (主な設備) 救急蘇生装置、除細動器、ペースメーカー、心電図、人工呼吸装置、ポータブルエックス線撮影装置、呼吸循環器監視装置、経皮的動脈血酸素飽和度測定装置、生体情報管理システム(CAPシステム：電子カルテと連携) など
【中央検査科】 (面 積) 234.60㎡ (主な設備) 生化学自動分析装置のほか各種測定装置を配置(血液、免疫、輸血、微生物等検査)
【画像診断センター】 (面 積) 688.67㎡ (主な設備) C T、M R I、一般撮影装置、血管撮影装置(2台) 等

*24時間体制になっているかも知ってご回答ください。

④ 通常の当直体制以外に重症救急患者の受入れに対応できる体制の確保状況

体制の確保		あり	
▼「あり」を選択した場合は入力してください。			
		常勤	非常勤
医師数		151	25
	うち専従数	1	2
看護師数（准看護師含む）		533	1
	うち専従数	19	0
薬剤師数		25	0
	うち専従数	0	0
診療放射線技師数		36	0
	うち専従数	0	0
臨床検査技師数		46	1
	うち専従数	0	0
臨床工学技士数		26	0
	うち専従数	0	0
上記以外の従事者数		225	68

項目 5 : 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

① 教育責任者の役職名

役職	副院長
----	-----

② 研修委員会

研修委員会の設置	あり
「あり」の場合 その名称を入力	教育委員会

③ 研修について

研修プログラムの有無	あり
研修会開催回数*	12
研修会のうち医師以外の医療従事者 を対象にしたものの回数	6
研修会参加延べ人数	470
症例検討会の開催回数	0
医学・医療に関する講習会の開催回数	12
▼主な研修概要	
第126～130回病診連携研修会 第7回 病理医養成研修会 第1～4回 感染合同カンファレンス 第13回 がん診療連携拠点病院研修会 第35回 在宅緩和ケア研修会	
▼主な研修施設概要	
岡山済生会総合病院	

* : 研修会開催回数は、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものに限る

項目 6 : 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

① 管理責任者及び担当者の役職名

責任者の役職	院長
担当者の役職	総務課長

② 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

▼診療に関する諸記録の管理方法
電子カルテシステムとして保管。 他院からの紹介状や説明文書等の書類は、電子カルテ内にスキャナ保存し、原本は患者ごとにファイル保存している。また電子カルテシステム導入以前の紙カルテは、診療情報管理室にて保管管理。
▼病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法
病院日誌（業務日誌、当直日誌、診療報告等）を日々帳票としている

項目 7 : 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

① 閲覧責任者及び担当者の役職名

責任者の役職	院長
担当者の役職	地域医療連携室長

② 主な閲覧方法

閲覧方法	閲覧希望者は地域医療連携室に目的、対象等をあらかじめ電話にて連絡する。内容を閲覧責任者が確認し、問題なければ閲覧日等の具体的調整を行う。また、閲覧当日、請求者は閲覧希望申請書を地域医療連携室に提出する。
------	---

③ 閲覧件数・概要

件数	0
▼閲覧者別件数	
医師	0
歯科医師	0
地方公共団体	0
その他	0

項目 8 : 医療法施行規則第 9 条の19第 1 項第 1 号に規定する委員会の開催の実績

① 委員会について

委員長の所属・役職		院長
委員数		13
	院外の委員数	7
総開催回数		4
▼概要		
・ 紹介、逆紹介の推移医 ・ 開放病床利用状況 ・ 主の主催研修会の内容報告 ・ 地域連携パス運用実績報告 ・ 高額医療機器利用状況 ・ 救急搬送患者の受入れ状況 ・ 退院調整部門の活動状況 ・ 地域広報活動などの実績報告		

項目 9 : 患者相談の実績

① 主として患者相談を行った者の役職（複数回答可）

役職	看護師長・医療福祉課長・医療安全管理者・薬剤部長・中央検査科 技師長・臨床工学科技士長・栄養管理科長・リハビリテーション技 師長
----	--

② 患者相談について

患者相談を行う場所	患者相談室
総相談件数	19649

項目10： 病院機能に対する第三者評価の実績

病院機能について 第三者による評価を受けているか	はい
▼「はい」の場合、どのような評価を受けているか	
日本医療機能評価機構 一般病院 2 ver3（初回：2000年9月18日認定） （2026年6月5日:認定6回目）	

項目11： 退院調整部門

退院調整部門の設置の有無	はい
--------------	----

項目12： 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無	はい
▼「はい」の場合、情報発信・内容等の概要	
・ 地域・患者向け広報誌『やわらぎ』 3か月に1回発刊、1回4,200部。病気の知識や予防法、最新治療法等をわかりやすく解説、市民向け健康セミナーの案内、連携医療機関の情報なども掲載。入院患者に配付、外来待合に配置し持ち帰り自由。地域町内会や約300の連携医療機関へ配布 ・ 医療機関向け広報誌『CORE情報』 地域医療連携室にて作成し県内中心に約500の医療・福祉施設や医師会へ送信。新任医師の紹介、新しい医療機器の紹介、専門医療の紹介等当院の医療機能情報を発信している。 ・ 開業向け冊子「診療案内」 当院の診療科やセンター医療を紹介約500の開業医へ配布。 ・ ホームページを、広報企画課中心に日々更新している。 ・ SNSサービスを活用して健康教室の案内やホームページの記事紹介 ・ 産科においては、妊産婦を対象にSNSを活用した情報発信を行っている。	

項目13： 地域連携を促進するための取組み

地域連携クリティカルパスの策定の有無	はい
▼「はい」の場合、その内容や運用方法の概要	
○ 策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 ・ 糖尿病（双方向） ・ 大腿骨頸部・転子部骨折（一方向、県南東部地域共通） ・ 脳卒中（一方向、県南東部地域共通） ・ 5がん（双方向、県内統一、作成部会担当・・・肝、胃、大腸） ・ 骨粗鬆症（双方向、婦人科中心） ○地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み ・ 入院患者リスト、手術患者リストから対象患者を抽出し、担当医に対象患者であることを伝達。協力医療機関との調整は地域医療連携室が対応。 ・ 地域訪問の中で、協力医療機関としての登録を相談し、拡大に努めている。	

項目14： その他の特記事項

特になし
